

動画を作る前に、 広告審査・配信面・LPを確認する

— 制作会社のノウハウを、社員が再現できる運営の仕組みへ。

制作前の確認で、使える動画の条件をそろえる。

審査

商材と表現のルール

配信面

実際の表示と必要な仕様

LP

動画の約束と移動先の内容

運用

確認者、入稿日、修正の時間

条件が先に見えると、**撮影と編集に集中**できます。

広告は、動画ファイルだけで判断されない。

動画

内容、表現、画質など

付随する素材

広告文や画像など

移動先

機能し、使いやすいページか

利用条件

商材や地域に適用されるルール

Google広告には動画とリンク先の要件があります。ここは確認対象の整理であり、審査通過の保証ではありません。出典は15ページ。

動画と周囲の情報を、一緒に点検しましょう。

企画書に、配信する場所を具体的に書く。

媒体

どの広告サービスを使うか

面と形式

どの表示場所・広告形式か

対象

届ける相手と配信地域

行動

クリック後に何をしてほしいか

同じ媒体でも形式で条件が変わるため、媒体名だけで制作を始めません。

使う場所が分かると、必要な素材を決めやすくなります。

仕様は、現在の公式情報から記録する。

映像

画角、解像度、尺、容量

文字

字幕や重要情報の配置

音声

音の聞こえ方と利用条件

付属素材

サムネイルや広告文など

必要項目は選んだ形式ごとに確認し、参照URLと確認日を残します。

数値を記憶に頼らず、**今回の条件を共有**しましょう。

制作実務と育成実務を、 同じ流れで教えられる。

ショート動画屋さんは、広告、SNS運用、通販、営業、採用など目的の異なる動画を
200社以上・3,000本以上制作してきました。

ディレクター・構成・撮影・編集を分け、複数人で速く品質を揃える制作フローを運用しています。

制作フロー（役割を分けて、速く品質を揃える）



内製化支援での引き継ぎ

実際に制作へ携わる担当者が、
この流れを企業の人員・目的・
頻度に合わせて移します。

実際の流れをそのまま社内で再現し、**制作を続けられる体制**をつくりましょう。

商材の条件は、台本より先に確かめる。

可否

その商材を広告にできるか

対象

地域や対象者に制限があるか

手続き

事前確認や認定が必要か

表現

説明に必要な条件や注意点

業種や地域で判断が難しい場合は、社内の専門担当や媒体窓口へ確認します。

不明な条件を先に解消すると、**作り直しを減らせます。**

強い表現には、説明できる根拠をそろえる。

数値

対象、期間、計算方法

比較

何と、どんな条件で比べたか

体験談

引用の許可と文脈

オファー

価格、対象、期間、条件

言い切れない内容を演出で強めず、根拠と条件を確認者へ渡します。

伝えたい強みを、**確かめられる**言葉へ整えましょう。

音楽や出演素材は、広告用途で使えるか確認する。

音楽

商用広告での使用条件

映像・写真

改変、地域、期間の範囲

出演者

広告への利用と公開条件

外注素材

納品後の編集や二次利用

通常投稿で使えた素材でも、今回の用途に使えると決めつけません。

確認済みの素材を選ぶと、公開後も管理しやすくなります。

LPは、動画で伝えた約束を受け止める。

商品

同じ商品やサービスを案内

条件

価格や対象条件が一致

説明

動画の主張を詳しく確認できる

行動

申し込みや相談の場所が分かる

LPは広告から移動するページです。動画とLPの担当が別でも、同じ版の情報で確認します。

入口と行き先をそろえると、**迷いの少ない導線**になります。

実機で、表示から完了まで一度通す。

表示

ページと動画を読めるか

操作

リンクやボタンが動くか

入力

フォームの必須項目やエラー

完了

送信後の案内と計測の動作

実際の利用環境で確認し、テストデータの扱いと後処理も決めます。

見る人の順番で確かめると、**小さな不具合**が見つけられます。

公開前に、確認対象の版を固定する。

制作

ファイル名と版番号を指定

内容確認

根拠、条件、ブランドを点検

運用確認

配信仕様とLPを点検

入稿

確認済みの版を使い結果を記録

入稿後に素材やLPを変える場合も、変更箇所と再確認の担当を残します。

誰が何を確認したかが分かると、安心して引き継げます。

不承認は、理由を確認して直す。

確認

通知された理由と対象箇所

照合

該当する公式ルール

修正

動画、広告文、LPの必要箇所

記録

修正内容と再確認の結果

判定に疑問がある場合は、媒体の正式な問い合わせや異議申し立て手順を確認します。

推測で作り直す前に、指摘と修正を対応させましょう。

公開日は、審査と修正の余裕を含めて決める。

企画時

商材、媒体、形式を確認

撮影前

表現と使用素材を確認

入稿前

完成版、広告文、LPを確認

公開前

審査結果と表示状態を確認

審査時間は一律に保証できません。確認が終わらない場合の公開判断者も決めます。

余裕のある段取りが、最後の確認を支えます。

選んだ媒体の、最新の要件を確かめる。

Google広告ポリシー | 動画広告の要件

support.google.com/adspolicy/answer/2679940

Google広告ポリシー | リンク先の利便性

support.google.com/adspolicy/answer/16427615

確認日：2026年10月1日。他媒体にはそれぞれのルールがあります。本資料のチェック項目は、個別の審査判断を代替しません。

確認先を共有して、制作前の合意を取りやすくしましょう。

作る前に、使える条件を一枚にそろえよう。

今日決める5つ

- 配信する媒体・面・形式
- 商材と表現の確認先
- 使用する素材の利用条件
- LPとフォームの確認担当
- 入稿・修正・公開の予定

ショート動画屋さんの内製化支援では、貴社に合う役割・手順・改善方法を一緒に設計します。

自社の内製範囲を相談する